科目名	日本語教育特講Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	外国人に教える日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
外国人に対する日本語教育の音声・文法について、外国語として考えることを目標とする。

[授業概要]
日本語教育特講Ⅰは、日本語教員資格取得希望者には必修の科目である。本講義では、前年度に受講済みの日本語学概論の内容を踏まえ、さらに詳しく外国人への日本語教育のための日本語学を取り上げる。次年度からの日本語教授法の授業に備え、外国人にとっての日本語を、その困難点を中心に分野別に整理し、考えることを目標にする。文法の問題も一部取り上げるが、外国人の間違いやすい点を中心に、日本語教員経験のある教員から、実例を通して学ぶ内容になる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
前回の授業内容を復習し、理解してから授業に参加すること。授業外でも、外国人の使う日本語に興味や関心を持つこと。

[授業計画]
1. はじめに
2. 日本語音声の問題点
3. アクセント・イントネーションの問題点
4. 文法の問題点①　品詞分類
5. 文法の問題点②　動詞の活用形　辞書形
6. 文法の問題点③　動詞の活用形　て形、た形
7. 文法の問題点④　助詞
8. 文法の問題点⑤　主語
9. 文法の問題点⑥　テンス
10. 文法の問題点⑦　授受表現
11. 文法の問題点⑧　受け身
12. 文字・表記の問題点①　文字の種類とひらがな、書くことの問題点
13. まとめ

科目名	日本語教育特講Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	外国人に教える日本語	講義	
担当者	安原　順子		

[成績評価方法]
試験(80%)、受講態度(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験後、試験用紙を返却し、解説する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容：日文1-1／日本語・日本文学および日本文化に関する基礎的な知識・教養を、幅広く体系的に身に付けている。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文2-1／獲得した「読む・書く・話す・聞く」力によって、自分の考えを適切にまとめ、論理的に表現し伝えることができる。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-1／自ら問題を発見し、それを解決するために必要な方策を主体的に構築することができる。
成績評価方法：試験、受講態度

学科DP番号／DP内容：日文3-4／日本語学習を必要とする人の多様性を知り、修得した日本語教育に関する知識や技能を用いて社会に奉仕することの意義を理解している。
成績評価方法：試験、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、受講態度

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:授業中に指示する。著者名: 出版社名: ISBN: